



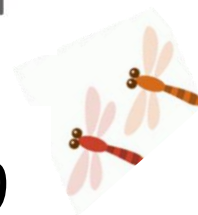
私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.45

(2017年9月号)

ネット通信 花 便 り



世界遺産「識名園」18世紀終わりごろにつくられた琉球王家最大の別邸の六角堂

目 次

第16回「園芸福祉シンポジウム in おきなわ」参加報告	P2~P3
琉球文化満喫	P4
ワークショップ「アダン筆づくり」	P5
沖縄の食文化	P6~P7
沖縄に咲く花たち	P8~P9
苔玉講座勉強会に参加して	P10
『グリップキャンペーン2017』出展のお知らせ	P11
グリップキャンペーン2017『ウェルカムガーデン』採用決定！	P11
ふくおかネットDIY女子部会?!竹灯明づくり	P12
博多高等学園でのハンギングバスケットづくり	P12
事務局からのお知らせ	P13



第16回 園芸福祉シンポジウム in おきなわ

～ ホット、美ら結い、おーきな輪！～



沖縄県那覇市へ

谷口 博隆

7月8日沖縄県那覇市で開催される日本園芸福祉普及協会主催の「第16回国園芸福祉シンポジウム in おきなわ」に出席するため7日の午後空路沖縄に向かいました。那覇空港に到着し歩を進めるごとに色とりどりの胡蝶蘭が香りを添えて迎えてくれました。沖縄都市モノレールに乗り、窓外に広がる樹林はモクマオウではないだろうか、針葉樹ではあるが九州の杉やヒノキ林とは景色が違って見える。次はスタジアムや体育施設がある奥武山公園、俯瞰しながら眺めを楽しんでいるうちに旭橋駅に到着しました。沖縄は青い空に白い雲、さわやかな海風と思い込んで来たので??蒸し暑いではないですか！

翌8日NPO法人 日本園芸福祉普及協会総会に出席しました。ステージは沖縄ムード満点の花飾りがあり、おもてなしの心が感じられました。議事では事業報告から予算案まで普及協会の運営が厳しいこともよく理解できました。

会員の皆さん、普及協会の会員にもなりましょう！



配布資料のチェック



オープニングは三線と唄で

沖縄園芸福祉協会 会長 赤嶺 光 氏



沖縄ムードの花装飾

シンポジウム参加

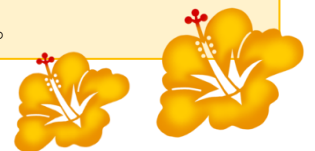
シンポジウムの特別講演は「沖縄の食文化と島野菜」と題して松本料理学院長 松本 嘉代子 氏の講演、食文化の継承に尽力されていることが伝わりました。続いて中国から北京精華大学教授 李樹華 氏の「中国の園芸福祉の現状」を拝聴しました。ワークショップは草玩具づくりを体験しました。アダンの葉の葉脈を裂いて先端に輪っかを作り、虫を釣るゲームや長い葉を縦横に差し込んで球体を作り中にサンゴや鈴を入れて音を楽しんで、壇上に置かれたスロープを転がして下に置いてある景品に当たるゲームをしてお菓子3個ゲット「やったー！」童心に戻れ、参加されている皆さんやサポート役の琉球大学の学生さん達とも笑顔の交感が出来、心和むひと時でした。

交流懇親会

食べて、飲んで、唄って、交流のおきな輪！と会場いっぱいの参加者と笑顔のカンパイヤ！

理事の方々と久しぶりに歓談し、同行した会員と理事の情報交換なども。

宴たけなわとなり三線の響きと沖縄の唄を合唱し、沖縄の料理とおもてなしに和やかなひと時を皆さんと楽しむことが出来ました。



見学会

バスの車窓から街路樹の説明を聞いているうちに世界遺産 国指定特別名勝 識名園に到着。ガイドの方が建造物や植物等庭園のポイントごとに説明されたので広く学ぶことが出来ました。ここは琉球王家最大の別邸、池の周りを散策できる回遊式庭園で、池に浮かぶ島には六角堂（中国風東屋）があります。中国風の石橋も架かっています。育徳泉という石組みの井戸もあります。

戦争で焼失した御殿（ウドウン）、番屋、正門などの歴史的建築物が戦後に復旧されています。庭園には四季折々に花が楽しめる植栽が施され、バナナ園や果樹園などもあり、景観を楽しめるように造ってあります。

次に末吉公園に入園、面積 84ha の総合公園で自然植生と観葉植物や熱帯果樹が植栽されています。園内を流れる安謝川に架かる橋の上に行くと幾分涼しさを感じました。亜熱帯植物が多く沖縄独特の植生、景観を見ることが出来ました。

沖縄と中国との交流の歴史から培われてきたデザインの修景施設、自然植生などを学ぶことが出来て意義深い見学会となりました。

お世話になった沖縄の方々に感謝いたします。

あと一言

初めての沖縄訪問は、ちょっとだけ気を遣う仲間と行動を共にして、聞くもの、観るもの珍しく感嘆しながら散策しました。

時々の緊張とリラックスを織り交ぜながらオリオンビール、泡盛、ウコンハイ、ハイビスカス酒、海人サラダ、ゴーヤチャンプル、島ラッキョウ天ぷら、ヒラヤーチー、ソーキ煮、モズク天ぷら、グルクン梅しそ天、それに固めのステーキなど沖縄の味を楽しみました。

ヤチムン（焼物）通りに行き、色や形、変化に富んだシーサーや食器、花器などの陶器の店が並び、店ごとに特徴ある作品があり、沖縄独特の陶芸を味わえました。

国際通りで琉球料理の店に入ると、店内には大きな沖縄の歴史絵が飾られ、ステージでは沖縄の舞踊や三線と島唄などが演じられるのを観て、美味しい島料理を楽しんで沖縄の旅を満喫しました。

「草玩具づくり」



アダンの葉の葉脈を裂き、先端に輪っかを作り長い葉を縦横に差し込んで球体を作ります。



北京精華大学教授
李 樹華 氏



葉脈の輪でキャッチ！たのしいー



琉球文化満喫

山崎 博子

「ホッと、美ら結い、おーきな輪！」をテーマに開催された「第16回 園芸福祉シンポジウム in おきなわ」に参加しました。とても暑かったけれど、元気に沖縄の街路樹や花木、中国の影響を色濃く受けた琉球庭園「識名園」などを、地元の方の説明で見学することができました。

「サガリバナ」を見つけては、下に落ちている花を拾い「ああよ、こうよ」となかなか前に進まない。

見たこともない長さ 30 cm程の丸い筒状の莢(さや)が落ちている。見逃すわけがありません。(帰って調べると名前はゴールデンシャワーツリー・黄色い花・芳香木)。

10月のグリップキャンペーンに莢をお持ちします。珍しいですよ。他にもいろいろ袋の中は木の実の宝物でいっぱいになりました。こんなことをしているときが一番幸せです。



もちろん、講演「沖縄の食文化と島野菜」宮廷料理、私たちの生活の中でもなじみの多いチャンプルーの話しをされた松本 嘉代子料理学院長は「ゴーヤ料理 60種」という本も出版されています。

3泊4日と比較的ゆっくりしたツアーだと思いましたが、首里城・ヤムチン通りでぶらりぶらり、公設市場で昼ごはん、夜は沖縄料理、商店街でのエイサー踊り見物、等などあっという間に過ぎてしまいました。

シンポジウムの内容はほかの方が書いてくださっているので、私は遊んだ話でごめんなさい。

全国の仲間と顔を合わせることはとても励みになります。

私は2002年の長崎市での全国大会が初参加で、シンポジウムを合わせて過去13回参加しています。

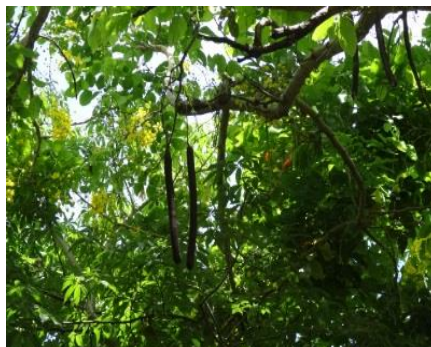


街路樹で宝物拾いに夢中!!

ホウオウボクの莢



ゴールデンシャワーツリー



ぶら下がっている種の莢

福州園



福州地方独特の伝統的手法をもちいた中国式庭園





完成したアダン筆

第16回園芸福祉シンポジウム in おきなわ

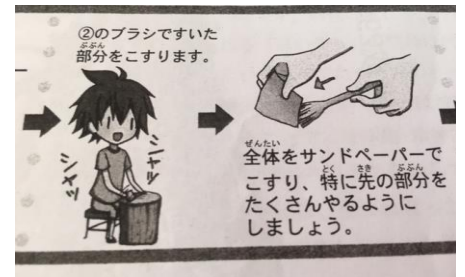
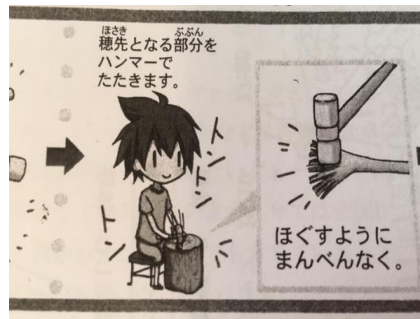
～ホッと、美ら結い、おきな輪!～ 嶋添 裕子

ほっと心を和ませ、仲間達とみんなと楽しく手を取り合い大きな輪（活動）を広げていこう園芸福祉。三線のリズムに心が体が弾み楽しくなりました。ワイワイ、ガヤガヤ楽しい三泊四日の沖縄研修旅行でした。有難うございました。

ワークショップ「アダン筆づくり」



アダンは沖縄独特の植物で、実がパイナップルに似たタコノキ科の一種。



▲上記イラストは配布資料より参照

「植物繊維の筆づくり体験」

講師：筆職人 吉田 元 氏

「アダン筆」は、沖縄の海岸近くで生育する植物「アダン」の茎や幹から出てくる気根（地上の茎や幹から出る根）をたたいて筆を作ります。

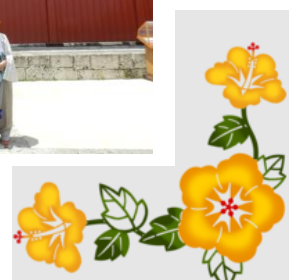
植物繊維で作る「アダン筆」は 200 年の歴史があるそうです。

筆の穂先になる部分に水をまんべんなくつけながら、気根をハンマーで一心にたたき続けます。

繊維が一本一本ほぐれて細くなったら金ブラシで繊維にそって、すいていきます。最後にサンドペーパーで丁寧に強くこすり穂先が薄く細くなったら完成。初めての「アダン筆づくり」でしたが、上手く出来上がりました。



▲上記画像は筆職人 吉田 元 氏 HP より参照





第16回 園芸福祉シンポジウムinおきなわ
 ～ホット、美ら結い、おーきな輪!～
 「沖縄の食文化」レポート 田中 節子



ワークショップの様子

今回の園芸福祉シンポジウム開催地は沖縄です。雨の福岡から一変して青空の沖縄へ。初日の講演・研修会場は沖縄県市町村自治会館2階ホール。隣の那覇 東急 REI ホテルに連泊したので、移動も少なくて助かりました。谷口代表の気遣いに感謝です。

全国の園芸福祉に関わる方々が、沖縄に集うシンポジウム大会に初参加した私は、皆さんからどのようなお話を聞くことができるのか、わくわくしながら会場に入りました。各県から1名、2名多いところでは6名、福岡も5名が参加し、合せて80名ほどです。

特別講演：松本料理学院長・松本 嘉代子 氏の「沖縄の食文化と島野菜」では、私たちがよく知っている沖縄料理のチャンプルー（豆腐主材料の油いため）、イリチー（だしをたっぷり使った炒め煮）、アンダギー（揚げ物）、ウサチー（酢の物）。この他にもたくさんの調理方法があることを知りました。会場で沖縄伝統野菜の「クワンソウとゴーヤの甘酢漬け」を試食させていただきました。◎クワンソウは和名：アキノワスレグサ別名：トキワカンゾウ



▲ クワンソウとゴーヤの甘酢漬

「クワンソウ」は沖縄伝承 ▶
 リラックスハーブ。ヌチグ
 スイ（命の薬）として用い
 られてきました。



ワークショップ「ハーブを楽しむ」

3つのワークショップの中から山崎さん、米倉さん、田中は「ハーブを楽しむ」講師：翁長 周子 氏の作って食べる「生春巻き」講座に参加しました。沖縄にはどんなハーブがあるのか楽しみにしていましたが、会場のテーブルにハーブがなくて不思議に思っていました。後日見学に出かけた「末吉公園」のガイドさんから「沖縄の暑い夏にはハーブは育たない」とお聞きし、納得しました。



材料

- ①レタス、きゅうり、トマト、鶏のムネ肉(ほぐす)
島ラッキョウ、ライスペーパー
- ②レタス、トマト、ドラゴンフルーツ、パッション
フルーツ、パイナップル、ライスペーパー
- ③レモングラスとレモンバーベナのハーブティー



作り方

- ①レモングラスとレモンバーベナのハーブティーでライスペーパーを軽く湿らせる。①を月桃の葉の上に広げ、お好みの材料適量(少量)をのせて両サイドを折りくるくる巻いたら完成です。
- 手作りソース:ニンニク、プリッキーヌー、パッションフルーツ、砂糖、水など(市販のスイートチリソースを使っても可)



パッションフルーツは甘くて美味しかったあ〜。 やっぱ熱帯沖縄です!

沖縄特産の果物ドラゴンフルーツ、パイナップル、パッションフルーツの甘さにびっくり。受講の皆さんとライスペーパーに巻くのは「もったいない」とそのまま食べました(笑)。



オリオンビールで乾杯ー!

沖縄初日の夜、沖縄料理の店へ向かったのですが店内は満席。親切な女将が紹介してくれた泡盛と海産物の店「ばやお」へ。



琉球王国のお菓子「花ぼうる」とさんぴん茶をいただきました。(首里城内の茶室にて) ▼



ソーキそば(国際通り)



◀ 公設市場Caféのマンゴーシャーベットに大満足!

研修最後の夜は沖縄民舞と沖縄料理を満喫。沖縄の魚の天ぷらとお刺身、モズクの天ぷら、海ブドウ、石垣牛のにぎりなどを肴にオリオンビールと泡盛で一杯。ちょっとだけ贅沢な時間(とき)を楽しんで、国際通りをぶらりぶらり。お腹いっぱい!幸せいっぱいの沖縄のシンポジウムでした。



公設市場で沖縄エイサー見学



第16回園芸福祉シンポジウム in おきなわ

～ホッと、美ら結い、おーきな輪!～

沖縄に咲く花たち

米倉 治美



滞在中の移動は沖縄都市モノレール「ゆいモノレール」を利用しました。(那覇空港駅と首里駅を結びます)

今回 NPO 法人 日本園芸福祉普及協会 主催「第16回園芸福祉シンポジウム」の開催地が夏の沖縄と聞き、研修と観光を楽しみに参加しました。

研修初日、会場では琉球大学の学生による三線(さんしん)演奏と沖縄の唄で歓迎してくださり「沖縄に来た〜!」と大感激。7月7日(金)〜10日(月)三泊四日の研修旅行は、子守歌のように心地良い島人(しまんちゅ)方言と灼熱の風に吹かれながら沖縄を満喫しました。

講演内容等につきましては谷口代表と先輩たちが詳しく書いてくださいましたので、沖縄で出会った植物たちの報告をしたいと思います。

街路樹の植物



ゴールドデンシャワーツリー
芳香木



オオバナサルズベリ

月桃

沖縄では旧暦12月8日に月桃の葉で巻いた鬼餅(ムーチー)を食べて、厄払いをする風習があります。

末吉公園



スパイラルジンジャー
(コスツス・バルバツス)



一夜だけ咲く幻の花 サガリバナ



月桃、サガリバナは福岡市植物園でも見ることができます。夏の夜の植物園で一夜花「サガリバナ」見てきました。花たちを見ていると自然界の神秘、素晴らしさを教えてくれます。サガリバナの花言葉は「幸運が訪れる」

沖縄では街路樹として、ホウオウボクが道路沿いや公園に植えられています。



『世界の熱帯3大花樹』の一つホウオウボク(鳳凰木)

樹高は10~15m (原産地・マダガスカル)

名前の由来は伝説の鳥「鳳凰」に似ていることからついたとか。ちなみに現在の日本の一万円札の裏に印刷されているのが伝説の鳥「鳳」です。以前は鳳(雄)と凰(雌)が対になって描かれていました。

6~10月、沖縄の空に映える鮮やかな緋色(ひいろ)のホウオウボク(鳳凰木)の花が咲くそうです。見てみたい!!

世界『熱帯3大花樹』
アフリカン・チューリップ
ツリー、ジャガランタ、
ホウオウボク

沖縄の街を歩くと、福岡の街では見かけない珍しい花たちにたくさん出会います。楽しくて、なかなか目的地に到着しななので困ってしまいました(笑)。



住宅地での
花の紹介パネル

街路樹で宝物発見!
ホウオウボクの剣状の莢

▲ 福木
沖縄では防風・防火林として植えられています。
樹皮から採れる強烈な黄が沖縄の伝統的染色「紅型」の染料として使われます。



オオバナアリアケカズラ



『沖縄の三大名花』
オオゴチョウ(大胡蝶)、
「沖縄の県花」・デイゴ(梯梧)
サンダンカ(サンタンカ)

首里城見学の帰り道、一般住宅でお庭に咲く花の紹介パネル発見! 花好き島人(しまんちゅ)の何気ない優しさを垣間見て、おもてなしの心遣いに嬉しくなりました。

『沖縄の三大名花』
オオゴチョウ(大胡蝶)

名前の由来は花の形が、蝶が舞う姿に似ていることから名付けられたとか。沖縄では昔から親しまれてきた花木です。(ヤムチン通り)

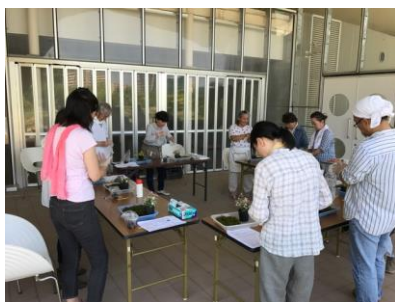
北京精華大学 李 樹華教授の講話で心に残った人生訓

- ① 一日を楽しむならお酒を飲みなさい
- ② 一カ月を楽しむなら豚を飼いなさい
- ③ 一年を楽しむなら結婚をしなさい
- ④ 一生を楽しむなら植物に関わりなさい



※今回ホウオウボク、デイゴ、サンダンカ(サンタンカ)の花に出会うことはできませんでした。

苔玉講座勉強会に参加して



村口 照美

7月30日連日の猛暑の中、定例作業を終え、午後から苔玉講座勉強会がありました。

今回は毎年数回ある苔玉体験教室で、参加する会員が誰でも同じやり方で戸惑うことなく準備や指導が出来る様にとの目的で始まりました。

最初はケト土を練り団子状に丸めて、糸は長さを計り厚紙に巻いたり、各自で苔玉の材料を準備するところから入りました。

次に苔玉を作る時もひとつひとつの工程を確認しながらの作業で、分かりやすく学ばせていただきました。また苔玉を作る技術向上だけでなく、苔玉講座に使用する道具や材料全般を確認することもできました。

講習後はお茶を飲みながら、これからもより良くする為の意見交換もあり、楽しく学ばせていただき、あっ—という間の勉強会でした。

秋のグリップキャンペーンでは、参加される皆さんに楽しんでいただける様に学んだことを伝えて行きたいと思います。楽しみです。

須賀 陽子

昨今ブームになっている味わいのあるオシャレな苔玉。作り方もお子様からご年配の方まで簡単に作れる物です。今回は会員が指導する立場としてのマニュアルの見直しや技術向上と情報交換を兼ねての勉強会となりました。下準備するだけでもざっと20種類。

ケト土の注文、ひとり分ずつ測り丸める。糸を切ったり、竹の割りばし（先を削りV字にカット）等々、細かな作業。参加人数を把握し、人数分を準備するだけでも十分大変だと改めて知りました。教える側としての心構えとしては皆が同じ指導を提供していくことを確認したことは、とても有意義な勉強会となりました。色々なアイデアや意見に感心しながら今後の活動に活かしていきたいと思いました。



『グリッピーキャンペーン2017』「ひろげよう 育てよう 緑の都市」

■ とき 10月14日(土)・15日(日) 10:00～ ■ 会場 舞鶴公園 (西広場)

■ 園芸福祉ふくおかネット出展・イベント内容

出展	担当者	内容
●種でお絵かき	北野 多美子	いろいろな種で自由に描いて頂きます、30個/日 土に触れ、飾って、眺めて、脳トレと心の癒し、30個/日 集中作業で脳の活性化やストレス解消、30個/日 華やかな癒しの景観づくりをお楽しみ、10個/日 会員の皆さんが作った農産物、苔玉、多肉植物の寄せ植えなどの他様々な手作り品を販売します。●商品募集中!
●いやしの苔玉づくり	米倉 治美	
●卵の殻に多肉植物の寄せ植え	山崎 博子	
●ハンギングバスケットづくり体験	黒瀬 恵子	
●緑の恵み 園芸福祉ショップ	二俣 はるみ	

ご協力をお願い

- ♥ 花・野菜などのいろいろな種を集めています。(材料準備 60名分)
- ♥ あなたの手作り作品をショップに出展しませんか。(一点でも可)
- ♥ 10月8-9日は海の中道海浜公園での癒しの苔玉教室、10月14-15日は舞鶴公園でグリッピーキャンペーン2017これらのスタッフなどに参加を希望される方は事務局までご連絡下さい。会員の皆様、何かとお忙しいとは思いますがご支援・ご協力よろしくお願い致します。



ハンギングバスケット制作講座中止のお知らせ

10月14・15日開催「グリッピーキャンペーン2017」会場にハンギングバスケットの展示協力の予定でしたが中止になりました。よって、9月24日(日)13:00～15:00園芸福祉ふくおかネット会員ハンギングバスケット制作講座は中止させていただきます。

グリッピーキャンペーン2017『ウェルカムガーデン』コンペ 採用決定！

グリッピーキャンペーン2017の会場を飾る「ウェルカムガーデン作品募集」に園芸福祉ふくおかネットも応募しました。7作品の応募の中から、園芸福祉ふくおかネットの『ようこそ、秋色に染まる五感に庭へ・・・』が、グリッピーキャンペーン2017 ウェルカムガーデンに選ばれました。アイデアと図面制作は米倉 治美さん、イメージデザイン画を沖本 圓さん。二人の協同制作作品が審査会で「採用」になり、会場・名島門側に展示することになりました。10月14日のグリッピーキャンペーン開催に向け、只今ガーデン作り参加スタッフ一丸となって、作品づくりに日々奮闘しています。

乞う ご期待ください！



ふくおかネットDIY女子部会?!竹灯明づくり

米倉 治美

9月8日(金)グリッピーキャンペーン2017「ウェルカムガーデン」に飾る竹灯明づくりのため、同会谷口代表のお宅(古賀市)へ向かいました。ガーデンづくり参加スタッフ黒瀬さん、山崎さん、金澤さん、田中さん、米倉の5名。

まずはバーナーで竹の油出し。バーナーの火で竹を温めると竹から細かな泡状の油が出てきます。と同時に古布で手早く磨くと伐採しばかりの竹は見違えるように美しい緑色の竹に生まれ変わります。そしてノコギリで指定の竹灯明の高さにカット。ここからが大変でした。電動工具、小刀、ノミなど日頃女性会員が触れたことがない道具を使って、竹の穴開け・竹に数本のスリットを開けます「集中しないと怪我をしかねない」。最後の仕上げは手作業で細やかな部分を小刀で削り、紙やすりで磨きます。それぞれが得意な作業協働で竹灯明5個が完成しました。

園芸福祉ふくおかネットDIY女子部会?!の竹細工作業は27日へと続きます。



博多高等学園でのハンギングバスケットづくり

黒瀬 恵子

9月13日(水)福岡市立特別支援学校「博多高等学園(福岡市博多区)」で、職業技能指導者派遣事業の一環として、昨年に引き続き今年もハンギングバスケットづくりを指導させていただきました。7月に谷口 博隆 代表と一緒に学園に伺い、担当の先生2名と打ち合わせ。今年は昨年使用したハンギングバスケットの容器(SLT-25)を使って講習をするということで、使用済みの容器を見せて下さいましたが、容器のスリット部分に貼った5枚のスポンジも殆ど傷みは無く、容器内側の細くなっている隅まできれいに洗ってありました。「ここまでしてくれてる」。感心して眺めていると「こんな作業は本当に丁寧にするんです」と先生が微笑みながら話され、その光景が目に浮かび思わず私達も笑顔に。13名の生徒さんにとっては初めてのハンギングバスケットづくりでしたが、1つ1つの細かな作業に一人ひとりが手を挙げて「確認をお願いします」と声を掛けます。出来上がったベゴニア センパフローレンスのハンギングバスケットは、強い風の当たらない明るい日陰で3~4日の養生を終えた後、通りに面した学園のフェンスに飾られ、登園する生徒は勿論、地域の方の目を楽しませてくれることでしょう。「地域の方からきれいですね〜と褒められ、生徒が喜んでいました」と、嬉しそうに言われた先生の言葉を思い出していました。1つ1つの作業を丁寧にすることで、きれいな作品に仕上げることが出来、褒められることで自信に繋がると思いません。これから社会に巣立つ生徒さんたちに、同団体の活動が少しでもお役に立てれば幸いです。

事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会

- 毎月/第3(土) 15:00~17:00
- ところ/福岡市NP0・ボランティア交流センター
「あすみん」天神クラス4階
事業活動報告と計画、会員の活動状況、園芸福祉活動の情報交換、作品紹介など。
- 定例会の後は「ちょっと一杯!」へ。
楽しい会話が弾む飲ニケーションで盛り上がってま〜す。気軽にお越しください。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業日

- 定例作業/毎月・最終日曜日 10:00~12:00
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
活動内容は花壇の維持管理（花柄摘み、除草、花苗植込み・撤去、水やり、施肥など）。
作業後は茶話会。活動近況や花の育て方・土づくり、園芸福祉に関するプチ勉強会など。
- 豪雨や気象災害などが予想されるときは中止、次の日曜日に変更です。

▶ 年会費納入のご案内

- 平成29年度の年会費（2,000円）の納入がまだお済でない方は、お早目にお振込みをお願い致します。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 谷口 博隆

● 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局(下記に掲載)にご連絡下さい。その後上記口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。



● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25

TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)

FAX : 092-521-6247

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

URL : <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り 第45号 平成29年9月15日

発行人 園芸福祉ふくおかネット 谷口 博隆